

2024年1月19日

会員各位

千葉県保険医協会

オンライン請求未導入・マイナ保険証（オン資）調査

マイナ保険証利用率が4.49%と6カ月連続で低下する中、政府はマイナ保険証推進、保険証廃止に固執しています。現行の健康保険証を2024年12月2日に原則廃止する方針を閣議決定しました。さらに、オンライン請求も今年4月原則義務化を求め、急速に医療のデジタル化を進めようとしています。

このような情勢下で、協会は会員のオンライン請求未導入の医療機関の困難事例、オンライン資格システム導入済医療機関でのトラブル事例を尋ねる調査を実施します。調査用紙は2枚です。ご協力のほどよろしくお願いします。

（該当する項目に☑をお願いします）

問1 区分 病院・有床診療所 無床診療所（医科） 歯科診療所

問2 診療所の主な標榜科（1つ）

内科 精神科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科
 眼科 耳鼻咽喉科 産婦人科 歯科 その他（ ）

問3 昨年政府は、閣議決定で現行の健康保険証を2024年12月2日に原則廃止することを決めましたが、健康保険証の廃止についてお尋ねします。

賛成 延期すべき 保険証は残すべき

問4 健康保険証が廃止された場合の受付業務についてお尋ねします。（複数回答可）

一定落ち着いていると思う
 今も混乱しており、廃止後は受付業務に忙殺されると思う
 診察の待ち時間が長くなると思う
 スタッフを増やして対応せざるを得ないと思う

問5 現在の支払基金・国保連合会への請求方法についてお尋ねします。

光ディスク等による請求 紙レセプト請求 オンライン請求

◆現在、光ディスク等または紙レセプトで請求している（オンライン請求を導入していない）会員へお尋ねします（問6～問7）。

問6 現在の請求方法を2024年4月以降も継続する場合、申請期間内に「猶予届出」などの提出が必要です。このことについて、

知っており、対応もわかる 知っているが、概要はわからない 知らない

問7 現在の請求を続けるにあたって、お困りごとはございますか。

光ディスクで業者回収のサービスがなくなった
 レセコン入力、手書きレセプトの作成依頼の確保が難しくなった
 手書きレセプト用紙の入手が困難
 その他（自由記載： ）

千葉県保険医協会（FAX050-3606-4998）へお送りください。

◆オンライン資格確認システム（オン資）を導入済みの会員へお尋ねします（問8～問13）。

問8 昨年12月政府の「マイナンバー情報総点検本部」は、総点検結果を公表。岸田首相は総点検結果で国民の理解が得られると判断しました。

そこで、お伺いします。昨年12月から現在までマイナ保険証、オンライン資格確認に関するトラブルはありましたか。

あった なかった

問9 前問（問8）で「あった」と回答した会員にお尋ねします。（複数回答可）

該当の被保険者番号がない 資格情報の無効がある 名前や住所の間違い

名前や住所で●が表記される

負担割合の齟齬 →国保・社保・後期高齢 限度額認定に誤り等があった

他人の情報が紐づけられていた 間違った医療情報が紐づけられていた

カードリーダーでエラーがでる

問10 トラブルの具体的な内容を記載してください。

[]

問11 トラブルについてどのように対応しましたか。（複数回答可）

その日に持ち合わせていた健康保険証で資格確認をした

オンライン資格確認のコールセンターに連絡をした

保険者に連絡をして相談した

レセコンメーカーに相談をした

前回来院時の情報をもとに対応をした

問12 トラブル対応で、「一旦10割負担を患者に請求した」事例はありましたか。

あった（ 件） なかった

問13 保険資格や負担割合の齟齬、限度額認定の誤りなどで、保険者から返戻または減点はありましたか。

返戻があった 減点があった ない

ご協力ありがとうございました。

千葉県保険医協会（FAX050-3606-4998）へお送りください。

オン請求未導入・マイナ保険証（オン資）トラブル調査の概要

1、調査の目的

政府が、2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止する閣議決定したことを受け、「健康保険証の廃止」についての意見を聞いた。

医療機関にオンライン請求の4月原則義務化を求めるなど医療のデジタル化を急速に進めようとしている。そこで、現状の医療機関請求方法、光ディスクによる請求と紙媒体による請求（オンライン請求以外）の医療機関への情報周知について尋ねた。

オンライン資格確認システム（オン資）については、昨年12月に政府のマイナンバー情報総点検本部がトラブル件数や防止策等を公表したが、12月から今年1月の期間にトラブルが本当に解消したのか。トラブルが「あった」場合はどのようなトラブル事例であったかを選択、個別記述で質問した。

2、調査の対象

協会会員4,242名（医科医療機関2,007名（うち、病院・有床診療所349名。以降、「医科」と略）。歯科医療機関2,235名（以降、「歯科」と略））のうち、FAX送信可能な3,976名（医科1,907名、歯科2,069名。2024年1月1日現在）

3、調査の方法および実施期間

FAX送信で、2024年1月19日～2月10日の23日間に届いた回答から調査した。

4、調査事項

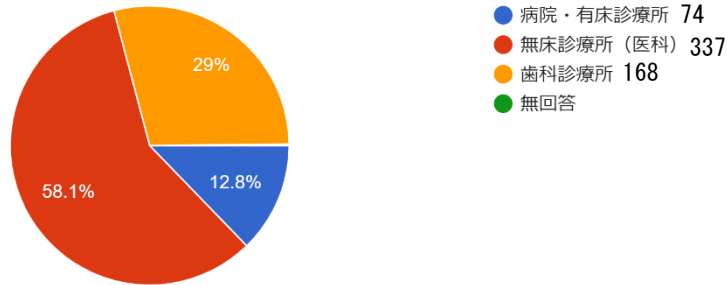
問1 区分/問2 主たる診療科（1つ）/問3 健康保険証の廃止について/問4 健康保険証廃止後の受付業務/問5 現在の請求方法について/問6 「猶予届出」について/問7 請求で困りごと/問8 昨年12月から現在までマイナ保険証、オンライン資格確認に関するトラブルの有無/問9・問10 前問（問8）で「あった」と場合のトラブル事例/問11 トラブルの対応/問12 「一旦10割負担を患者に請求した」事例の有無/問13 保険者から返戻、減点の有無

5、回答状況

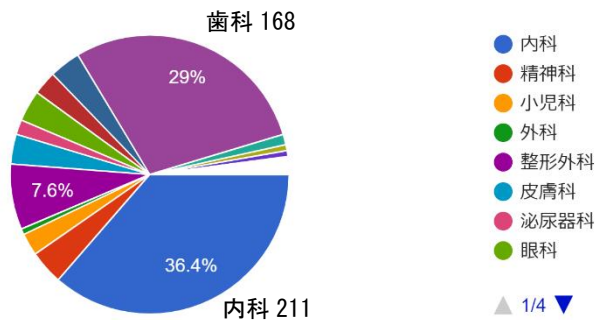
回答数は、580件。回収率は、14.6%。

（内訳：病院・有床診療所74件、医科診療所（無床）337件、歯科診療所168件、無回答1件）

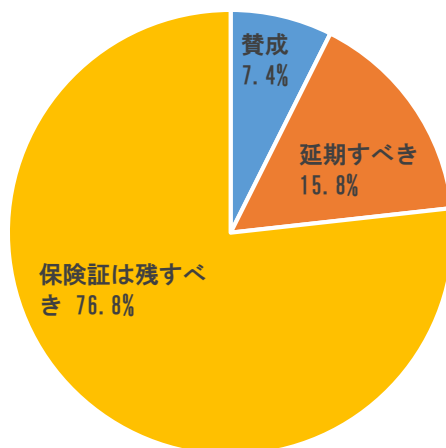
問1 区分
580件の回答



問2 主な標榜科（1つ）
580件の回答



問3 昨年政府は、閣議決定で現行の健康保険証を2024年12月2日に原則廃止することを決めましたが、健康保険証の廃止についてお尋ねします。 n=568（無回答を除く）

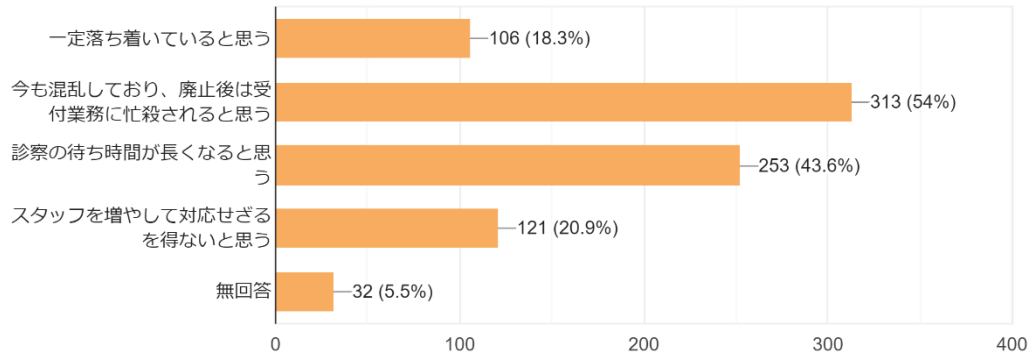


賛成	42	7.4%
延期すべき	90	15.8%
保険証は残すべき	436	76.8%
無回答	(12)	
	568	100.0%

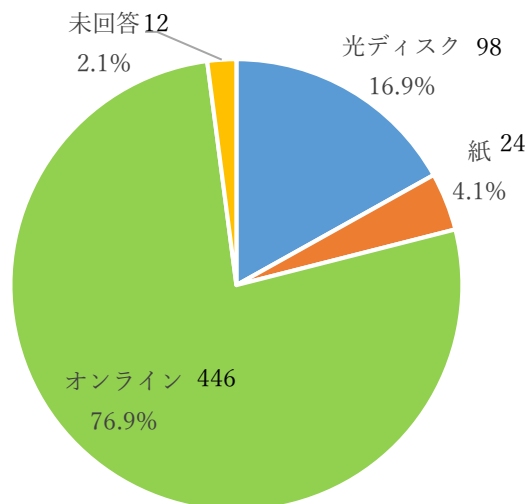
「延期すべき」＋「保険証は残すべき」が、9割超

問4 健康保険証が廃止された場合の受付業務についてお尋ねします。(複数回答可)

580件の回答



問5 現在の請求方法



問5 光ディスクの標榜科毎の内訳 n = 98

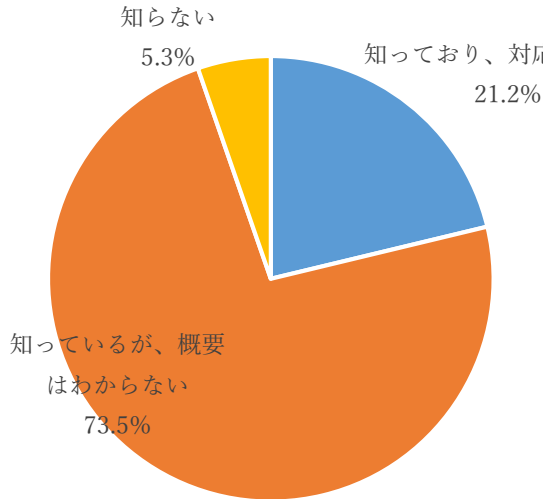
内科	11
その他医科	12
歯科	75

問5 紙レセプトの標榜科毎の内訳 n = 24

内科	1
その他医科	3
歯科	20

(光ディスクまたは紙) オンライン未請求者への質問 (問6～問7)

問6 「猶予届出」について (n=113)



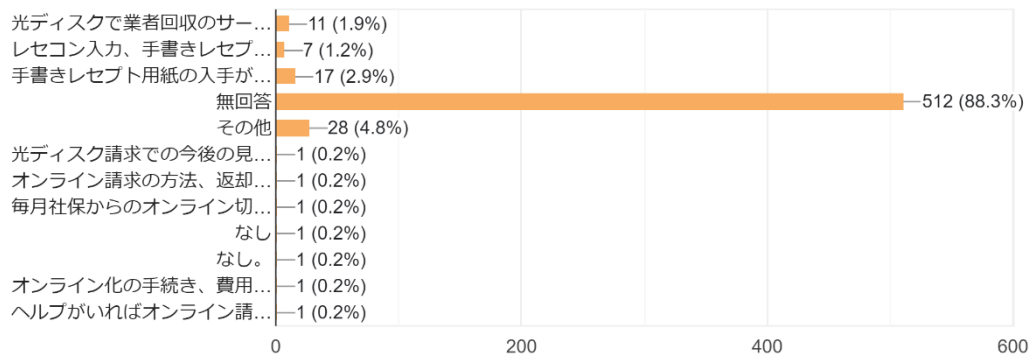
問6 猶予届出の周知状況 n = 113 (無回答除く)

知っており、対応もわかる	24	21.2%
知っているが、概要はわからない	83	73.5%
知らない	6	5.3%
無回答	(9)	
	113	100.0%

**「概要はわからない」 + 「知らない」が、78.8%。
対象者に情報が行き届いていない。**

問7

「光ディスク等」「紙レセプト」請求が回答の対...続けるにあたって、お困りごとはございますか。
580件の回答

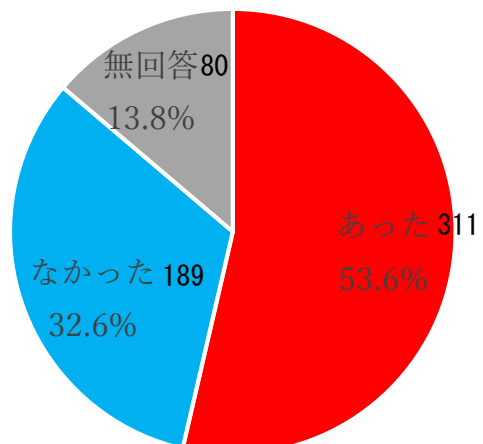


オンライントラブルの質問 (問8～問13)

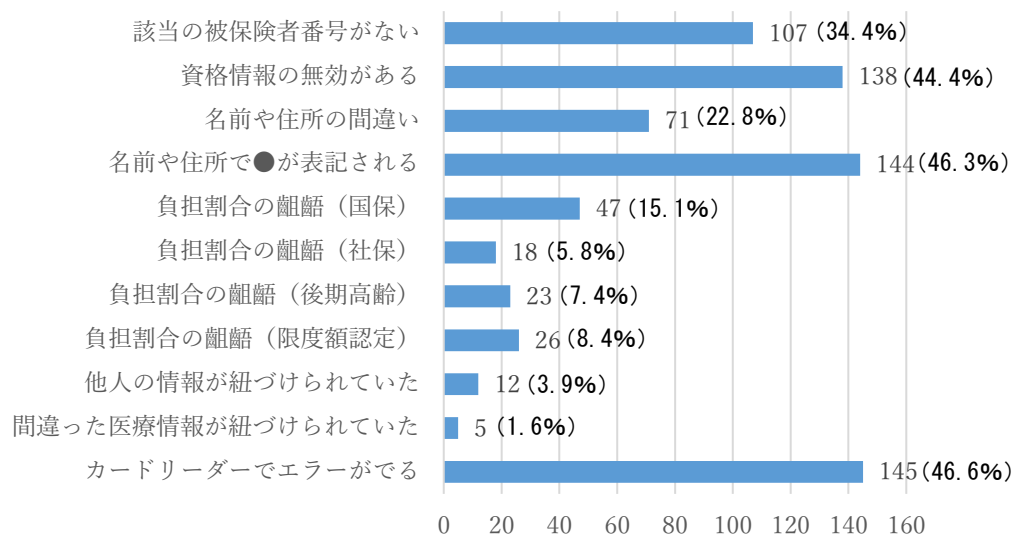
オンライン導入済みの会員へ調査 (n=580)

問8 昨年12月から現在までマイナ保険証、オンライン資格確認に関するトラブルはありましたか。

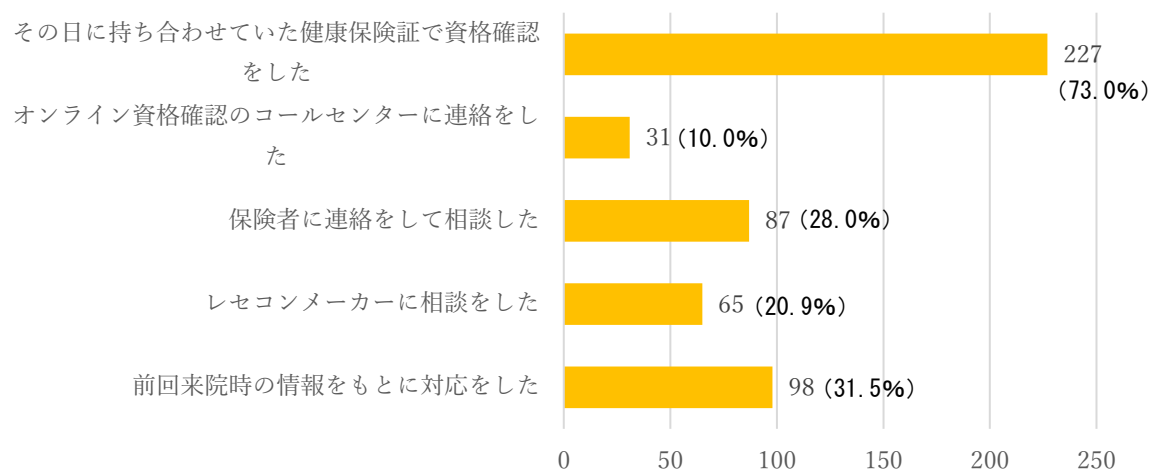
過半数の医療機関が、いまでもトラブルが「あった」と体験している。



問9 前問(問8)で「あった」と回答した会員にお尋ねします。(複数回答可)
(n=311)

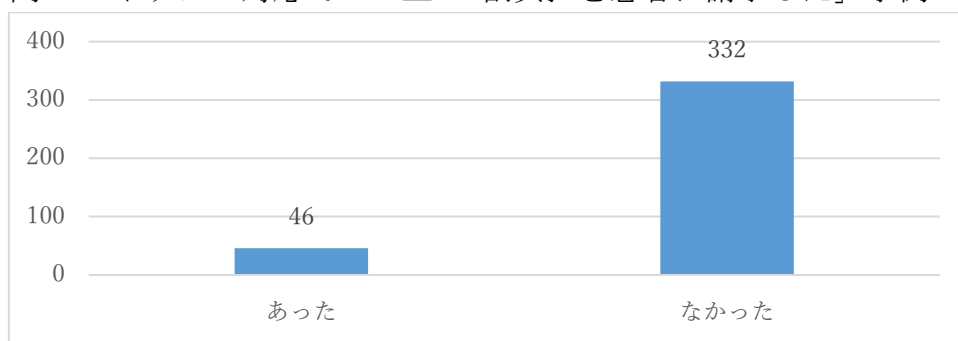


問11 トラブルへの対応(複数回答可)(n=311)

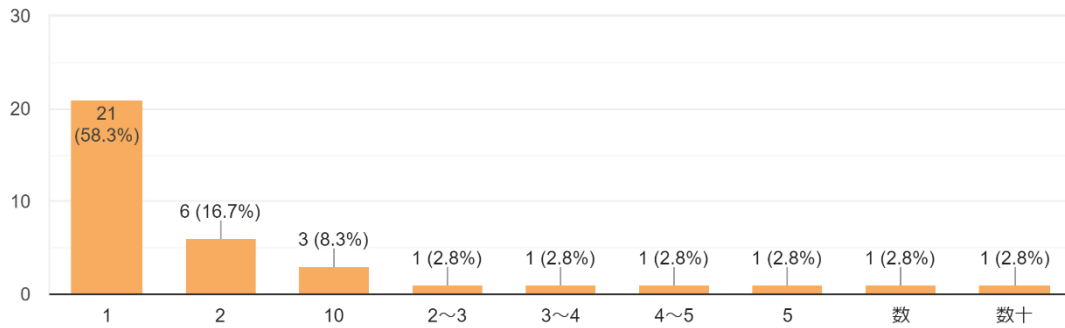


トラブル対応で「健康保険証による資格確認」が73%。

問12 トラブル対応で「一旦10割負担を患者に請求した」事例



問12で「あった」回答の件数（数字のみ入力）
 36件の回答（「あった」46件のうち10件は未回答のため）



問13 保険者から返戻・減点の有無

